

【H27. 11. 9 総合教育会議資料】

ふるさと教育の充実 ～「たんばふるさと学」の推進～

1 「たんばふるさと学」の概要

地域の参画による教育展開をすすめるため、学校支援コーディネーターを各校2名委嘱し、学校とともに学習計画を立案するとともに、学校と地域の連絡窓口としてゲストティーチャーの派遣の調整を行う。また、体験活動の充実するため、学校支援コーディネーターから地域住民に呼びかけ、新たな体験活動の場や人材を発掘し、体験学習を実施する。

2 丹波市としての考え方・取組み方針

地域連携を推進し、地域の教育資源（自然・文化・歴史、人材）を活用した授業等の取組によって、自分が生まれ、育ち、住んでいるところをふるさととして大切に思う気持ちを育む。そのため、従来の教育活動を整理し、ふるさと教育の全体計画の作成や実践研究をすすめ、ふるさと意識の醸成を図る。

3 「たんばふるさと学」推進計画・展望



子どもたちのふるさとへの愛着や誇りを高める
 地域参画による学校運営を推進する
 地域課題を知る・解決する学習を通して、主体的に学ぶ態度を育成する

4 「たんばふるさと学」推進の課題

- (1) 学校支援コーディネーターの発掘と育成
- (2) 様々な課題教育の推進との兼ね合い、教育課程への位置づけ
- (3) 中学校のふるさと教育との接続